

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キララこども園（児童発達支援）		公表日		7年 3月 1日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			・こどもの人数に合わせてこどもの対応をする職員、業務を行う職員と分けている。 ・利用人数に合わせて職員の配置数を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・アンケートを配布し、保護者の意向等を把握している。 ・玄関に貼り、職員全体が把握できるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・自己評価を行い、掲示板に貼り出し、周知および共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			5	現在、第三者評価をお願いしておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			・キャリアアップ研修やコロロ発達療育センター等での研修に参加している。	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			ホームページ、チラシ等を配り周知徹底している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			ポータージプログラムのチェックリストを利用している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			ポータージプログラムのチェックリストを利用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・朝、15時以降に職員の話し合いの場を設け、プログラムを考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			・こどもの様子や状態、天気等によって活動プログラムを変えている。 ・プログラム等、毎日違うことを取り入れるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		・朝、こどもの状態を見ながら、対応やプログラムについて話し合いを行っている。 ・その時に応じ、役割分担をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			・日報を書く際、職員間で話し、振り返りを行っている。 ・その日、気づいた点、気になったことを話し合い、次の日の支援に活かしている。 ・適切な対応を話し合い、共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・毎日日報を記入し、記録している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			・連携し、情報の共有を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5			
	31	(31は、事業所のみ回答)			5	・スーパーバイズ、助言等はコロロ発達療育センターにお願いしています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		・児によって、保育園や幼稚園に行って交流している。 ・同一法人内の小規模保育事業所と連携を図り、活動や交流する機会を増やしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・連絡帳や口頭でその日の状況を伝え、今の目標について話し合いを行っている。 ・朝、帰園の際に保護者との連携、こどもの把握ができるよう伝達等している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			・面談等で行っている。 ・実際の療育場面を見て頂く機会をもうけている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		・面談時に運営規定支援プログラムについて説明している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			・「児童発達支援計画」の内容の説明を丁寧に行っている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			・面談や連絡帳、降園時に対応を行っている。 ・悩みに対し、直接または連絡帳等で助言や支援をしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1		4	・保護者のアンケートの結果、父母の会の設置を希望されない方が多かったため、設置はしていない。 ・保護者会の内容を検討し、保護者同士が交流できる機会を設けていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			・相談や申入れがあった場合はすぐに時間をつくり、対応している。

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			・ SNS、園だより、手紙、連絡帳、保護者対応時等に発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			・ SNS等に関してはアンケートを取り、その子に応じて行っている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・ それぞれの障害特性、発達段階を踏まえた情報伝達を心がけている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		1	4	・ そのような行事を行っていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			・ 毎月避難訓練を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・ BCPを作成し、職員に周知徹底している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			・ 新入園児は事前に持病やアレルギー等を確認し、対応が必要な児に対しては、医師からの指示書に従い対応がとれるようにしている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		・ 現在は食物アレルギーの子がいないが、いる時には給食担当職員栄養士との連携を図り対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			・ 事例があった際には職員間で共有し、再発防止に努めている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・ 虐待防止の研修を定期的に行っている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		